

えんちゃん新聞



新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、新型コロナウイルス感染症に対する様々な規制の中、明るい希望を込めた新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

旧年中は、コロナ禍の中、ご利用者様、ご家族様地域の皆様方、更に行政当局の関係各位の皆様方には格別のご支援、ご協力を頂戴し、心より感謝申し上げます。

今後の高齢化社会への体制構築として、団塊の世代の方が75歳以上となる2025年に向け、医療、介護、住まい、予防、生活支援サービスが身近な地域で包括的に確保される「地域包括ケアシステム」の構築が着々と進んできております。今後増々システム構築の推進、活動が予想される中、その一輪として、私共福祉施設としての役割、責任をしっかりと果たし、地域に信頼される施設、地域社会に貢献できる施設を目指して参ります。

今年も施設ご利用の皆様が、希望に満ちた、安心、やすらぎ、ゆとりある暮らしをお過ごしいただけるよう、職員一丸となって努めてまいりますので、何卒よろしくご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

令和三年 元旦

施設長 井上俊男



発行元
令和3年1月 発行
第45号
社会福祉法人 亀鶴会
偕楽園
特別養護老人ホーム偕楽園
〒874-0904
大分県別府市南荘園町25組
TEL: 0977-22-2515

新聞の名前は、施設で飼っているバットの名前です。

名前: えんちゃん
犬種: トイプードル
性別: 男の子

●施設の特徴
4つのユニットで構成され、ユニットケアを行っています。

特養: 29部屋(全室個室)
向日葵ユニット(10)
金木犀ユニット(10)
小梅ユニット(9)
ショートステイ: (全室個室)
桜ユニット(10)



ひまわりユニット

ひまわりユニットは、えんちゃんのホームベース いつもそばにえんちゃんがいます。



陽だまりでとうと



ねえねえ 何してるの～

ほくも いっしょ



綺麗でしょ

マニキュアを塗ってさしあげました。

本格的な寒波を迎え、身体が冷える季節となりました。また、現在流行している新型コロナウイルスの影響に伴い、入居者様との面会もスムーズに行うことが出来ない状況にあります。皆様お変わりなく過ごされています。また寒さが続くので、入居者様が体調を崩されないよう、体調管理など看護師とともに行っていきます。今年もよろしく申し上げます。

わんぱくユニット (ショートステイ)

気温差が激しく、体調を崩しやすい季節から一変、寒い日が続くクリスマスやお正月等、冬の行事が楽しい季節が到来して参りました。昨年は、現在進行形で続いている新型コロナウイルスの流行に伴い、大人数が集まるレクリエーションを行うににくい状況にありました。そのため、ソーシャルディスタンスを考慮した上で作業レクリエーションやクリスマス会を行いました。

作業レクリエーションでは、ピンとビーズを使用した置物の作成や毛糸を使用したクリスマス飾りの作成を主に行いました。また、紙コップや折り紙等を使用したミニクリスマスツリーや掲示板にクリスマスツリーの大きなモールを作成し飾りをつけて行きました。クリスマスツリーが徐々に完成していく様子を、ご利用のたびに確認され、「完成したら、どこに飾ろうかな」、「ここに飾ると良いと思う」等の言葉が聞かれ、ユニットの雰囲気明るくなるよう考えて下さる方や出上がりを楽しみにされる方がいらっしゃいました。クリスマス会では寒い時期に身体が少しでも温まるようお願いを込めて、みんなで鍋を囲んだ「かぼちゃスープ」を提供し「おいしい」との言葉が聞かれました。また、おかわりされる利用者様もいらっしゃり、自然と笑顔がこぼれる温かい会となりました。昨年は、ありがとうございました。今年も皆様楽しんでいただけるよう努力して行こうと思っております。今後ともよろしく申し上げます。



ビーズの置物



塗り絵



ツリー飾り



ツリー飾り



ウォーキング



おやつタイム



お茶会

外部研修報告

●「企業・団体啓発リーダー養成講座」

生活相談員 野町浩平
10月7日に行われた「企業・団体啓発リーダー養成講座」の内容から、「発達障害を持つ人に対しての関わり方について」を紹介させていただきます。

『SDGs (Sustainable Development Goals)』2015年9月の国連サミットにおいて、全会一致で採択された「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のための国際目標というものがああります。今は発達障害という表現をされることが多いですが、一人ひとりにはちゃんと個性があります。発達障害だから〇〇ができない、という否定的な見方をされることもありますが、その人は何もかもできないわけではありません。「〇〇は苦手だけど、□□をしたら誰よりも上手い！」というように、その人の個性に注目して、その個性を發揮できるように皆で働きかけていく事が大切です。

どんな人にも個性があり、チームとして協力していく中で、プラスの個性もあればマイナスの個性もあります。そしてプラスの個性しか持たない人は存在しません。それぞれの個性を共に認め、実力を發揮できるように協力していく事が、これからの時代には必要不可欠となります。

●「高齢者虐待防止研修会」

生活相談員 野町浩平

オンライン研修に参加するのは初めてだったのですが、便利なものだと感動しました。移動しなくていい、講師の方の顔がよく見える、声もよく聞こえる、慣れた環境で聞くことが出来る、と個人的には良いことでした。

さて、今回の高齢者虐待防止研修は、身体的虐待、心理的虐待…といった基本的な内容はもちろん、虐待に至らない至らせない為の組織の在り方なども学ぶ事が出来ました。その中から3点ほどご紹介させていただきます。

一つ目は、「より良い正解を模索する意欲が大切！」です。「こうした方が良いのでは?」「これを見てみたいけど…」と思うけど言い出しづらかったり、言ってみただけ「今までこうしてきたから」と返ってきたことはありませんか? 模索することを発信・実践することができないチームは失敗が許されない雰囲気になり、挑戦する力が失われていきます。介護の仕事は日々変化しますし、「これが正解!」という方法が確立し難いです。そのため「こうした方が良いのでは?」「こうしてみたい!」という、より良い正解を模索する意欲が大切です。

二つ目は、「難しく考えすぎず、とりあえずやってみることが大切!」です。意見・提案がしづらいチームだと、何かを始めるときにリスクを重要視しがちです。リスクマネジメントは大切ですが、そればかり考えていてはより良い成功体験を得ることは出来ません。失敗は成功の基と言いますし、まずは挑戦してみましよう。

三つ目は、「多様性を認めて、それぞれのあるべき姿に到達できるように、一緒に進もう!」です。個人もチームも成長して、より良いケアが出来るように頑張っていきたいと思えます。

内部研修報告

利用者の皆様によりよいケアを提供することを目的として、外部研修会に参加した内容や旬のテーマを全員で共有するために月に1回、職場内研修を行っています。昨年の4月以降は、会議室に集まるための研修会に変わり、資料配布を行い、情報の共有を図っています。

● 10月のテーマ

『感染症のことを理解しよう』
『自立に向けた排泄介助・ポイントと注意点』

● 11月のテーマ

『介護職員のための感染対策マニュアル』

● 12月のテーマ

『人権について』



新入職員紹介

大鶴ひろみさん (介護)



□この仕事に就いたのは?
以前に受講した介護職員実務者研修をいかそうと思い、この仕事に就きました。
□得意なこと・苦手なこと
得意: 馬に乗ること (馬術競技をしていました)
苦手: 初対面の人
□休日の過ごし方
ネットフリックスやアマゾンプライムで映画やドラマを見て過ごしています。
□みなさんに向けて一言お願いします!
初心者で解らないことばかりですが、宜しくお願いします。色々教えてください。



守末卓広さん (介護)



□この仕事に就いたのは?
福祉の仕事に興味があったため
□得意なこと・苦手なこと
得意: 我慢強い
苦手: 人見知り
□休日の過ごし方
ウォーキング、スポーツ観戦
□みなさんに向けて一言お願いします!
頑張ります。



中島公夫さん (介護)



□この仕事に就いたのは?
前職で高齢者の方と触れ合う機会が多く、介護に興味があったからです。
□得意なこと・苦手なこと
得意: ?
苦手: 運動
□休日の過ごし方
料理や洗濯など、家事が多いです。
□みなさんに向けて一言お願いします!
徐々にですが、仕事を覚えてきたので、安心して仕事を任せてもらえるよう、頑張ります。

